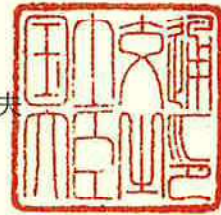


# 認定書

国住参建第30号  
令和6年4月19日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0902-1
2. 認定をした構造方法等の名称  
排水管・シート付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

排水管・シート付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
	面積	0.0343m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積又は鋼製スリーブ内径の面積に対する配管の断面積の割合)		73.6%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 120mm以上

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
遮音シート	材料	無機質充てん材混入合成樹脂性エラストマー		
	組成 (質量%)			
	厚さ	1.2(±0.1)mm		
	密度	2.1(±0.2)g/cm <sup>3</sup>		
	使用箇所	管継手部分		
被覆材		材料	無機充てん材混入塩化ビニルシート/ポリエステル系フェルト積層シート	
		厚さ	11(±2.2)mm以下	
		使用箇所	立て管(直管) : あり 横枝管① : あり又はなし 横枝管②~⑤ : なし	
	外層	材料	無機充てん材混入塩化ビニルシート	
		厚さ	1.0(±0.2)mm	
	内層	材料	ポリエステル系フェルト	
		厚さ	10(±4)mm以下	
		密度	0.03(±0.01)g/cm <sup>3</sup>	
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25	
		砂	75	
	使用箇所 (使用量)	床と管との隙間 (床厚方向120mm以上密に充てん)		

表3 配管の仕様

項目		仕様			
排水管	立て管	直管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)	
			組成 (質量%)		
			寸法	外径：φ140mm以下、厚さ：9.6mm以下	
		管継手	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手 ①又は②	
			組成 (質量%)	① ②	
			寸法	外径：φ150.1mm以下、内径：φ140.7mm以下	
	横枝管(2本以下)	①	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)	
			組成 (質量%)		
			寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
		②	材料	硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、VP管)	
			寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
		③	材料	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776、HT管)	
			寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
		④	材料	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798、RF-VP管)	
			寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
		⑤	外管	材料	耐火二層管
				材料	繊維混入セメントモルタル
				組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 70(±10) 無機質混和材・軽量骨材 25(±5) 有機質繊維 5(±1) ただし、無機質混和材：炭酸カルシウム、石灰質、けい酸質繊維 軽量骨材：パーライト、凝灰岩系天然ガラス 有機質繊維：セルロース、パルプ、合成繊維
寸法	外径：φ130mm以下、厚さ：7.0mm以下				
内管	材料		種類：①～④ ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、VP又はVU) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6742、VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776、HT) ④リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798、RF-VP)		
	寸法		外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下		

4. 副構成材料の仕様：

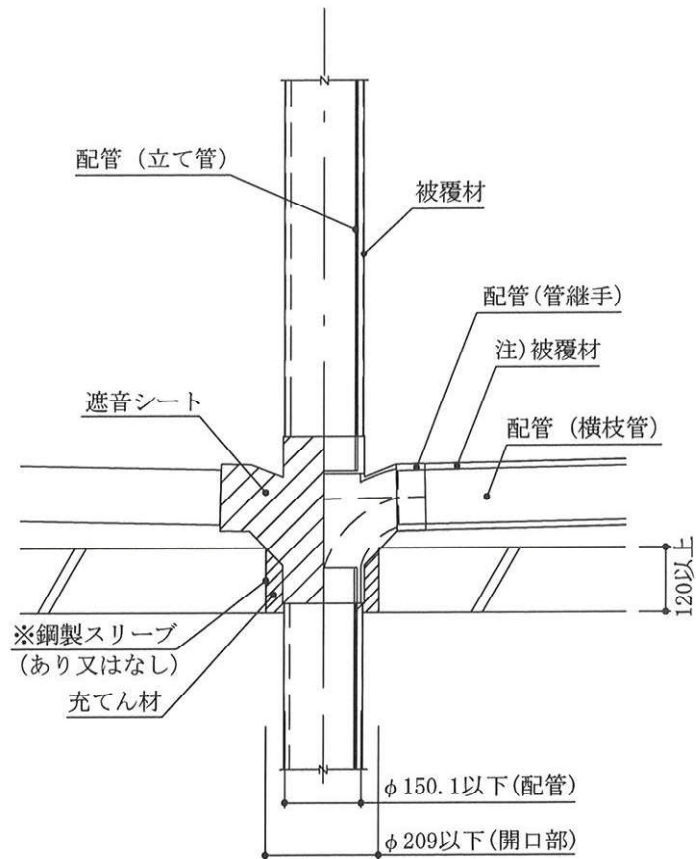
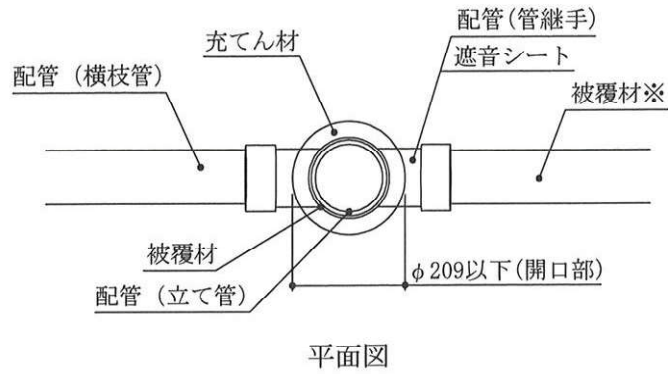
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
接着剤	材料	①又は② ①アクリル樹脂系 ②塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系
	塗布量	20g以下/1ヶ所
	使用箇所	直管と管継手との接続用
テープ1	材料	合成樹脂製(アクリル系粘着剤付)
	寸法	厚さ0.3mm以下、幅76mm以下
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用
テープ2	材料	合成樹脂製(ゴム系粘着剤付)
	寸法	厚さ2.2mm以下、幅76mm以下
	使用箇所	被覆材の固定用
テープ3	材料	合成樹脂製(ゴム系粘着剤付)
	寸法	厚さ2.0mm以下、幅50mm以下
	使用箇所	管継手部分(遮音シートの固定用)
鋼製スリーブ (開口部補助材)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①鋼製(めっき処理品含む) ②ステンレス鋼製 ③鋼管
	寸法	外径：φ209mm以下 長さ：100mm以上(床厚) 厚さ：0.5mm以上
	使用箇所	鉄筋コンクリート造の場合 必要に応じて、鋼製スリーブ(開口部補助材)を使用してもよい。 (ただし、コンクリート打設後の後付け施工は除く。)

5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1及び図2に示す。

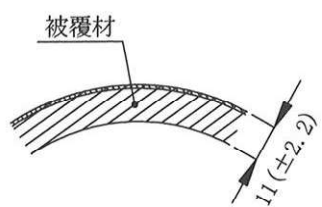
単位 mm



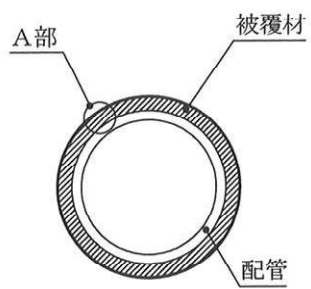
注) 被覆材の使用条件  
 横枝管①: あり又はなし  
 横枝管②~⑦: なし

※鋼製スリーブは、躯体が鉄筋コンクリート造の場合

図1 構造説明図(施工図)



A部詳細図



被覆材の断面詳細図

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 管の設定

直管、管継手を所定の位置となるように設置する。

(3) 直管と管継手の接続

管継手の上下接続部に排水管(立て管)を接続する。また、管継手の横枝管接続部に排水管(横枝管)を接続する。必要に応じて、管継手と立て管の接合部にテープを巻き付ける。

(4) 開口部の埋戻し

開口部と管の隙間に、充填材(セメントモルタル)を密に充填する。